矢向あけぼの保育園だより　11月号

今年は、いつまでも暑さが続く変な陽気です。子どもたちも急な体調不良など落ちつかないところもありますが、運動会・芋掘り・焼き芋と行事は無事開催することができました。

運動会にあたっては、4年ぶりの乳幼児合同開催となりたくさんの方々に参加していただき嬉しいかぎりです。朝から運動会準備・片づけなどご協力いただいている保護者の方々にも感謝いたします。卒園児の子どもたちも、エイサーを踊りたくて、My太鼓を作って持ってきて一緒に踊ってくれたり、片づけの手伝いもしてくれて、違うところでも子どもたちの成長を感じる事が出来ました。小学生になっても保育園とのつながりを忘れないでいてくれる子どもたちがいる事が保育士にとっても大きな力につながっています。現在、運動会でのアンケートを取りまとめております。今後の様々な行事開催に反映できるようご意見などを参考にさせていただき検討していきたいと思います。

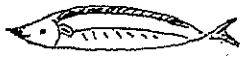
《クリスマス会開催について》

保護者参加できる行事を少し増やしていきたいと今年度は、クリスマス会を保護者に観ていただこうと考え、土よう日開催とさせていただきました。例年ですと、通常の保育の中での流れで行い保護者は、録画を観ていただく形でした。その録画もすぐお渡しできなかったりでしたので、子どもたちの様子や成長をすぐに保護者と共有できませんでした。

園のホールでは、狭いので保護者参加にすることがなかなかできなかったのですが、ヒューメディカさんのご協力があり、隣りの友の会会館をお借りすることができました。コロナ前では、卒園式などでお借りすることもありましたので、又使用させていただくことができ保護者参加での取り組みができると考え、土よう日開催したいと考えています。

保護者の参加の形は、現在、子どもたちの出し物を含め検討しております。12月16日(土)の午前中開催しますので、土よう日勤務されている方は、お仕事の調整をお願いしたいと思います。乳幼児全員参加の形で開催いたしますので、ご協力のほどよろしくお願いします。

《年長さん　火おこし体験》～どうグループ～

お泊り保育、運動会と大きな行事をひとつひとつ経験し友だちとの関係も一段と深まっていっている、どうグループの子どもたちです。園の中で一番大きいお兄さんお姉さんという意識も高まってきています。そんなどうグループのお友だちに、焼き芋の火おこしのお手伝いを、お願いしました。初めて経験することなので、火おこしのコツを伝えます。火を扱う怖さも伝えるので、子どもたちは真剣な顔つきで聞き、大人のやり方をしっかりと見ていました。火が弱くならないよう火力の調整をする為には、火をしっかりと見て判断していかなくてはいけません。時には、煙にまかれたり火の熱さがきつかったりと大変な作業です。根気、集中力、観察力が必要です。ひとりでは大変なところは、友だちと協力しあわないればおいしい焼き芋にはたどりつけません。初めての事でときどいながらも薪をくべたり、うちわで風を送ったり、煙で目が痛くても、友だちとうちわリレーしながら焼き芋をやりとげました。出来あがったお芋をおいしそうに食べる小さい、お友だちを見て、ほこらしげに見ている、どうグループの子どもたちでした。

次は、11月17日(金)にさんまを焼く予定です。どうグループの子どもたちには、最初からの火おこしをお願いしています。(保)「焼き芋で火を守るコツはつかんだから次は子どもたちだけで…」と言い終らないうちに(子)「がんばるー!!」「もっとやりたかったー」と意欲的で元気な返答でした。子どもたちのパワーでおいしいさんまを焼いていきたいと思います。